



宜野湾の市民栄誉

Citizens Honor in Ginowan



レスリング

屋比久 翔平さん

東京2020オリンピック競技大会のレスリング男子グレコローマンスタイル77キロ級で銅メダルを獲得した屋比久翔平さんに、同年宜野湾市民栄誉賞が贈られました。宜野湾市で生まれ育ち、やはりレスリング選手だった父、保さんのもとでレスリング人生をスタートさせた屋比久さんは、グレコローマンスタイル70キロ以上の階級では、1968年メキシコオリンピックを制した宗村宗二以来、日本勢2人目の表彰台。県出身選手としては1992年バルセロナオリンピック体操男子団体で、知念孝が3位になって29年ぶり2人目のメダリスト、個人種目では沖縄初のメダルをもたらす快挙を達成しました。

プロフィール

1995年1月、名護市生まれ。嘉数小で本格的に競技を始め、浦添工高3年で全国4冠。2015年の全日本選手権で初優勝し、20年に5度目の頂点。アジア予選2位で五輪へ。グレコローマンスタイル77キロ級。父保さんは世界選手権代表。

